

⑤唄

1 5 注5

工 尺 工 五 七 尺 工 合

うね たり しゅめめ うみ かきれ

八七五尺  
六五工

う	ね	た	り	しゅ	め	め	う	み	七	七	か	き	れ		
工	工	尺	尺	工	工	五					尺	尺	工		
1			4			7			4			10		1	

笛

- 注1： 五→尺（この歌は尺#）は、届かないことを前提に行ってください。  
②の段の9拍目の表（前半）は正確な位置の「五」をしっかり鳴らして、裏（9拍目後半）でスライド、10拍目の表で「尺#」に小指が着地した時も人差し指は弦を押さえたままです。  
（指が届く人もスライドさせるようにしてください。それが三線の味です。）
- 注2： ②の11拍、12拍の「や」は12拍目でカーブを描き、③の1拍目の「や」につながります。唄い方に気を付けましょう。
- 注3： ③の1拍目裏はしっかり間を空けましょう。
- 注4： ③の9拍目の「てい」はカーブを描き10拍目の「い」につながります。  
10拍目の「い」は「てい」を伸ばしたものですので、強調せず抜いた感じで唄ってください。
- 注5： ⑤の5拍目の「七」と6拍目の「尺（この曲は尺#）」は小指で押さえます。「七」を「正確な勘所」で押さえていますと、二弦の「四」との共鳴が起こり、指を放しても音は止まりません。（音が止まるようなら、「完璧な調弦」か「正確な勘所」のどちらかまたは両方が出来ていないということです）  
「七」は5拍表で止め、5拍裏は「四」の共鳴に任せて、6拍目で小指で「尺#」を弾きに行きます。